

「二年生の職場実習」

進路指導部 田中 幹雄

高等専修学校では、卒業後に生活の拠点となる実社会を意識して、数度にわたり職場実習が行われていることは既にご承知のことと思います。

段階的になされている進路指導の中でも、今回は二年生の職場実習に焦点を絞ってご紹介致します。

この職場実習は、一年生・二年生で体験した作業学習（校内実習）での様子や日常生活を元に、各個人の適性や特性を客観的に判断し、可能性を考慮した上で実施致します。

職場実習は、現実的な場を通して学習していく機会としての、大きな意義があります。

職場実習には、次のような目標があります。

体験を通じて勤労意欲を高め職場についての知識を得る

公共の交通機関や公衆電話（携帯電話）を用いた生活能力の向上

本人の適性や特性を再確認していく。

進路の方向性を考え、生徒にとってどの職場が最善かを考える。

校内での模擬的な社会体験とは異なり、この職場実習では、生徒にとって新しい幾つかの課題が見つかります。新たな課題については、個人的に働き掛け、三年生の職場実習に生かしていきます。

特に、新しい生活リズムの体得や対人関係の形成については、学校生活から新しい生活へ適応していくための自己変革が求められるため、生徒にとってとても重要かつ、厳しい課題となります。

進路指導部として、各保護者の方にご準備頂きたいことは、進路情報（職種や地域別の情報）の収集・選択・活用、さらには将来の生き方や在り方等について、じっくりと時間をかけて頂きたいということです。正直なところ、二年生になってからという「のんびり」とした考え方では、生徒自身にとっての最善の職場を決定していく時、全てが出遅れてしまいます。

ただし、生徒自身が進路について考える時期は高等専修学校への入学後で十分かと思われます。まずは、学校生活を楽しみ、同年齢の友人とより刺激し合うことで、自己を成長させていくことが一番です。

次年度も、より多くの情報提供をしていければいいと考えておりますので、共に励んで参りましょう！